2-7．今年度の成果と今後の課題

平成 30 年度調査で挙げられていた課題と方向性について、本調査における成果と今後の課題を以下に再整理する。

項目（平成 30 年度調査）			平成 30 年度調査で挙げられていた課題・方向性	令和元年度の取組み方針	本調査における成果	今後の課題
地権者に係る事項	若手の会	定例会	・組織体制の継続した検討 ・定例会のあり方 ・新旧メンバー間における若手の会の位置づけに対する認識の差異の解消	・将来的な若手の会の自立化に向け、若手の会の将来あるべき姿についての意識づけと議論を促す	・若手の会の将来あるべき姿について議論を進める事ができた	・若手の会の将来あるべき姿について継続して検討する必要がある ・若手の会を次世代に繋いでいくための取組みについて検討する必要がある
			・地主会との連携強化 ・自主活動の一環として各字を訪れての意見交換	・地主会と若手の会の連携強化を図る	―	・地主会との連携をより強化していく必要がある
			・跡地利用の理想像に関する継続した検討	―	・若手の会として「環境づくりの方針」について取りまとめる事ができた	・検討内容について関係機関へ発信していくことが必要となる
			・継続した若手の会の提言取りまとめと、地権者に対する情報発信の機会の場を設ける	・地権者に対し、中間取りまとめ以降の検討内容に関する情報提供と知識の習得、跡地利用計画に対する興味・関心を促す	・若手の会として「環境づくりの方針」について取りまとめる事ができた	・検討内容について関係機関へ発信していくことが必要となる
	一般地権者	字別意見交換会	・より多くの地権者に対して、跡地利用計画への興味・関心を促す ・意見交換の時間を十分に確保する	・地主会と若手の会の連携強化を図る ・地権者に対し、中間取りまとめ以降の検討内容に関する情報提供と知識の習得、跡地利用計画に対する興味・関心を促す	・若手の会会員の進行で意見交換を行った事により、参加者から意見を引き出しやすい雰囲気づくりを行う事ができ、活発な意見交換ができた ・年度末の開催を避けた事、市役所等公共施設での開催数を多くした事により、新たな参加者を取り込む事ができた	・より多くの地権者へ跡地利用計画に対する興味・関心を喚起し、意見等を引き出す必要がある ・新たな参加者を呼び込むために、開催日時を変える等の工夫が必要である ・継続した参加を促すための工夫が必要となる
市民に係る事項	NBミーティング	会の活動	・定例会の進め方を検討し、内容の充実を図る ・対外的な活動を継続実施し、多くの市民の声を拾い集約を図る	・検討と取りまとめを支援し、検討と取りまとめに要する情報収集、意見集約の機会を支援する ・ＮＢミーティング定例会への参加者が増加する様、対外的な活動を通して周知を行う	・メンバーから自主的な定例会議題の提案や活動の計画決定がなされた ・「まちあるき」手法でのメンバー以外からの意見収集方法の確立が図られた	・今後の活動の活性化を図るために、既存メンバーの参加促進を図る必要がある ・対外的な活動を実施する際に役割分担の明確化が必要となる ・メンバーの意見が反映された年間活動計画の立案が必要となる ・継続して地域の団体と連携を取り、まちあるきを行い、跡地利用計画へ反映すべき点を NB ミーティングで取りまとめていく必要がある
			・役員の改選を検討する	―	・定例会の中で役員の改選が行われ、新役員と活動の調整が活発的に行われた	―

項目（平成 30 年度調査）			平成 30 年度調査で挙げられていた課題・方向性	令和元年度の取組み方針	本調査における成果	今後の課題
市民に係る事項	NBミーティング	会の活動	・NB ミーティングの取組みについて、「まち未来だより」を通し、市内全戸配布で広く発信しているが、発信した NB ミーティングの考えに対する何らかの意見の回収が図れるよう検討が必要となる ・学校等でパネル展示を行い、若い世代の興味関心を引き出すきっかけづくりに繋げる事が必要となる	・市民に対し、跡地利用への興味関心を高めるため情報発信を行う	—	・NB ミーティングの取組みについて、「まち未来だより」を通し、市内全戸配布で広く発信しているが、発信した NB ミーティングの考えに対する何らかの意見の回収が図れるよう検討が必要となる ・学校等でパネル展示を行い、若い世代の興味関心を引き出すきっかけづくりに繋げる事が必要となる
		まちあるき	—	・市民に対し、跡地利用への興味関心を高めるため情報発信を行う	・「まちあるき」手法でのメンバー以外からの意見収集方法の確立が図られた	・継続して地域の団体と連携を取り、まちあるきを行い、跡地利用計画へ反映すべき点を NB ミーティングで取りまとめていく必要がある
	一般市民		・過去の取組みや会議で挙がった企画について、今後の活動検討を行う際に改めて検討する	—	—	・過去の取組みや会議で挙がった企画について、今後の活動検討を行う際に改めて検討する
			・イベントの開催に関して、大学生の参加が見込まれる 10 月～12 月までの開催を目指す ・イベント参加者の募集方法を工夫する	—	・将来のまちづくりを担う子供を持つ子育て世代に、NB ミーティングの活動紹介を行う事ができた	・イベントに関心を惹く工夫が必要 ・伝わりやすいパネルの作成や NB ミーティングメンバーからの説明など伝わりやすい工夫が必要
			・学校とＮＢミーティングで連携を図り、イベントや出張定例会等を実施する事で、人材育成に繋げていく ・単年度ではなく継続実施する事で、子どもたちの跡地利用への関心の定着を図る	—	—	・学校とＮＢミーティングで連携を図り、イベントや出張定例会等を実施する事で、人材育成に繋げていく ・単年度ではなく継続実施する事で、子どもたちの跡地利用への関心の定着を図る
地権者・市民に係る事項	まちづくり講座の開催		・受講者増に向けた工夫 ・多くの地権者、市民に興味を持ってもらえる講座内容を検討する ・講座修了後も受講者がまちづくりに関わる事のできる仕組みを検討する	・地権者、市民誰もが宜野湾市のまちづくりを学べ、考える事のできる場とする ・跡地利用のまちづくりにおいて大切な事は何かを学び、まちづくりへの参画を促すための場とする	・まちづくりにおける地域コミュニティ、地域資源の活かし方に関する受講者の知識の向上を図る事ができた	・受講者増に向けた工夫を検討する必要がある ・講座修了後も受講者がまちづくりに関わる事のできる仕組みを検討する必要がある
情報発信	ふるさとの発行		・継続した情報発信と合わせて、見やすさ及び分かりやすさを工夫 ・掲載内容について、地権者の意見を聞き出す必要がある	・適切な時期に、分かりやすさを重視して発行する	・跡地利用に関する他地区の事例や行政・若手の会の取組みについて情報を発信する事ができた	・掲載内容について、地権者へ問いかけ、内容の更なるブラッシュアップを行う必要がある
	まち未来だよりの発行		・継続した情報発信と合わせて、見やすさ及び分かりやすさを工夫 ・「まち未来だより」を通して発信した考えについて、何らかの意見の回収が図れるよう検討が必要	・適切な時期に、分かりやすさを重視して発行する	・跡地利用に関する情報や、行政・ＮＢミーティングの取組みを分かりやすく発信する事ができた	・市民が跡地利用のまちづくりに興味関心を持つための内容に工夫して更なるブラッシュアップが必要となる
評価及び検証	懇話会の開催		・合意形成活動に係る継続した議論の実施	・合意形成活動の方向性等について継続した議論を実施する ・若手の会及び NB ミーティング両組織が活動を進めていく中での課題等について検討し情報共有を図ると共に、各々の組織にフィードバックさせる事により、着実な合意形成活動に繋げていく	・次年度の取組みを進める上での留意点等について、一定の方向性を示す事ができた	・合意形成活動に係る継続した議論を実施していく必要がある

【今後の展開】

【令和元年度　若手の会の検討内容とりまとめ】

■本年度の検討テーマ：普天間飛行場跡地利用計画策定にかかる計画分野別検討

・『

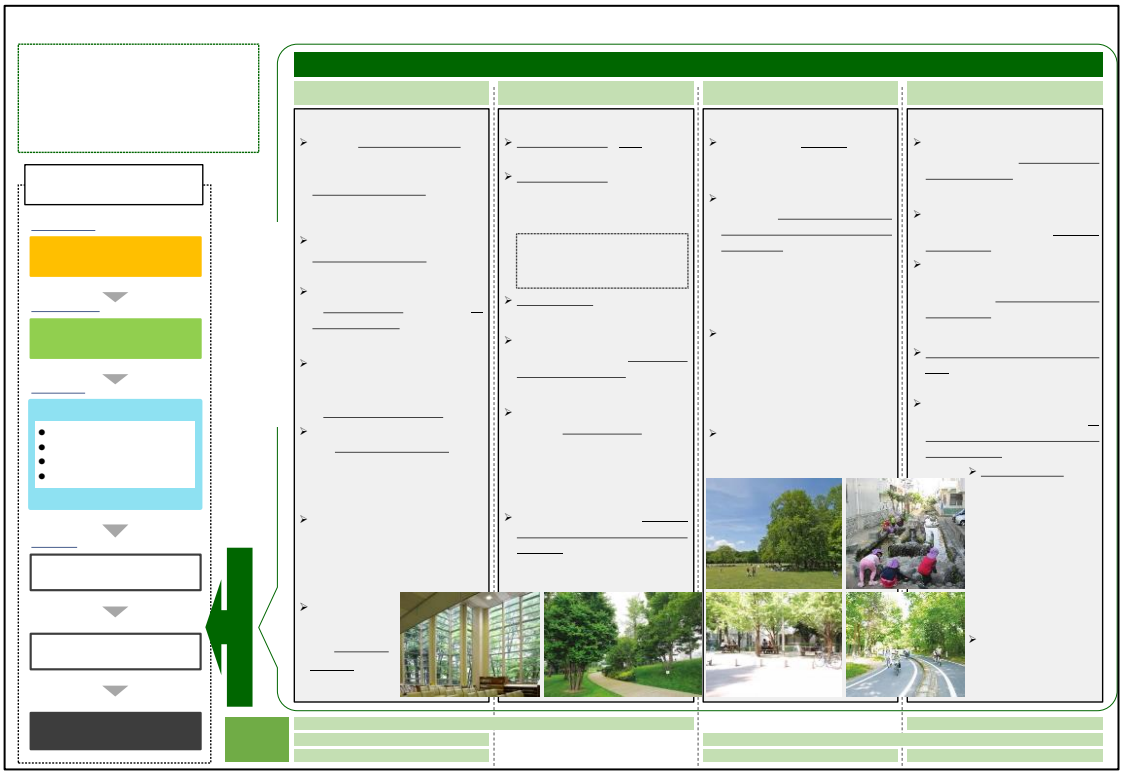
・次の分野として「土地利用及び整備導入の方針」について現在検討を進めており、次年度以降も継続して検討を行っていきます。

■グループ毎の意見交換で進行役

・普天間飛行場跡地利用計画策定に向けた現況の状況報告、地主青と若手の会との対話の場として市民意見交換会を開催し、地主青への説明やグループ毎（10名程度）の意見交換では若手の会が進行役を務め、活発な意見交換を行いました。

■先進地視察会への参加による知識の習得

・今年度の先進地視察会は、跡地利用計画が実現した後、普天間飛行場跡地及びその周辺地区に与える影響としてどのような市が考えられるか、地域に残る資源を上手く活用するための方法、地域内及び市民全体で魅力あるまちづくりを考えていくにあたり必要な市項等を習得する市を目的として開催されました。この視察に若手の会として参加し、新たな知識を習得しました。



【令和元年度　NB ミーティングの検討内容とりまとめ】

■本年度の検討テーマ

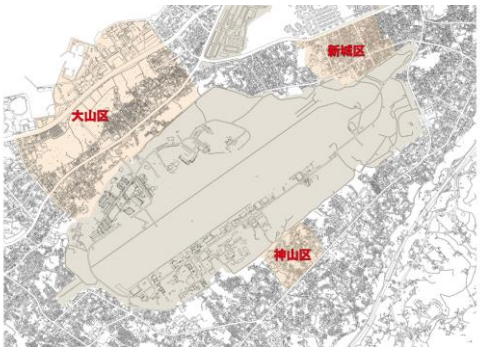
周辺市街地から考える普天間飛行場跡地利用計画

[redacted]

■まちあるき実施

開催概要

普天間飛行場に隣接する神山地区、新城地区、大山地区の位置



まちあるき・意見交換の様子

【神山地区】　【新城地区】　【大山地区】

各地域の意見

①神山地区

③大山地区

②新城地区

3地区の活動でわかったこと

-
-
-
-
-
-
-

市民・県民への情報提供と意見収集の方法について（提案）